

樹木観察のポイント・樹木の成長

6 稚樹の観察

Point

- ・細くて弱い幹を感じてみる
- ・立木と稚樹を比較してみる
- ・抜いて全体を触察も



稚樹の観察では、長い年月をかけてびくともしない大木に成長する樹木の幹も、芽生えたばかりの時期には細くて弱いことがわかります。稚樹には、立木では高くて手が届かない枝葉の様子をゆっくり観察できる利点があります。立木の近くに同じ種類の稚樹があれば、立木と稚樹を容易に比較することができます。近くに同種の稚樹がみあたらない場合は、他の場所で採取した稚樹をビニールポットに仮植したものを観察対象とすることが考えられます。ポット植えした稚樹の場合は、土から容易に抜き上げることで地下部の根を観察することもできます。地上部と地下部が一体となった樹木全体を観察できるのは、ポット植えした稚樹の利点でもあります。

参考：大石康彦・井上真理子(2024)森林観察における学び—盲学校小学部1年生の夏休み観察会から—、日本視覚障害理科教育研究会会報 43:1-9.